【報告様式】 第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価(今和5年度実績評価)

ſ	市町村名	市川三郷町	所属名	介護課				
	担当者名	自立支援・重度化防止	芦沢隆子·大竹維					
		介護給付適正化	大竹維					

- ※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理のための手引き」(P.33~47)等を参考にご記入ください。
- ※「県計画との関連」については、「県計画の目標」シートや別添「健康長寿やまなしプラン概要版」(R3~5)から、関連する県計画の項目を選択してください(当てはまらない場合や不明な場合は「その他」を選択してください)。
- ※ 評価は5段階評価とし、良い方から「5・4・3・2・1」としてください。

《 評価の目安 》 達成率 80%以上:「5」 達成率 60~79%:「4」 達成率 40~59%:「3」 達成率 20~39%:「2」 達成率 19%以下:「1」

		総括表			フェイスシート					令和5年度(実績評価)				
市町村名	号	【 区分】 ①「自立支援、介護予防・ 重度化防止 ②「介護給付適正化」 から選択してください	【 県計画との関連】 「県計画の目標」シートや「県計画概要版」を参考に、関連すると思われる 県計画の項目を選択してください(当てはまらない場合や不明な場合は「そ の他」を選択してください)。	タイトル	現状と課題	第8期における 具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	目標の評価方法	実施内容	評価 (1~5)	己評価	課題と対応策	取組の効果や 成果として 考えられること	
市川三郷町	1	①自立支援、介護予防・重度化防止	I (1)高齢者の自立支援、 介護予防・重度化防止の 推進	高齢者の自立支 援・重度化防止に 向けて	本町においては、令和5年の人口は 14,859人(高齢者福祉基礎調査) で、そのうち高齢者数は5,757人を 占め、高齢化率は38,796と国や山 梨県の高齢化率を大きく上回ってお り、今後も高齢化率の上昇が見込 まれている。	地域ケア会議の拡充	地域ケア会議開催21回 自立支援型地域ケア会議開催30 地域ケア推進会議の開催1回	3 事業ごとに集計	地域ケア会議開催17回 自立支援型地域ケア会議開催3 回 地域ケア推進会議開催1回	 自立式 解た。自: た。自: 関のケア 域ケア に推進	に向けて共通課題の確認ができ 立支援型地域ケア会議では、 替及び専門職が自立支援のた 設計を行うことができた。また、地 全議で出された地域課題を基 全議を1回開催し課題解決 の勉強会と意見交換を行うこと	検討した中で、独居高齢者の権利機 護地介護保険サービスと障害福祉 サービス併用の高齢者・生活困窮者 の自立支援、移動や通いの場、リハビ 明鑑派遣等の課題が抽出された。今 後は、検討事例の選定を行いながら、 抽出された課題解決につながるような 地域ケア会議を開催していきたい。	ケア会議の拡充を行うことで多職種から様々な意見等をもらえる機会となり、自立に向けた支援、重症化防止につながる。また、共通の課題を確認することにより地域包括ケアの推進につながる。	
市川三郷町	2	①自立支援、介護予防・重度化防止	I (1)高齢者の自立支援、 介護予防・重度化防止の 推進	高齢者の自立支援・重度化防止に向けて	介護認定率は総合事業の開始も あて多少減少したが、更新申請 時の認定度が次第に(全国及び山 製果ともに)重度化している傾向が かられている。介護保険利用の原 因を見ると、骨折・転倒、認知症等 が多い現状にある。		認知症予防事業の参加者150人 認知症サポーター養成講座、認知 症予防普及啓発事業、認知症予 防教室の実施	事業ごとに集計	認知症予防事業参加者122人 (認知症サポーター講座3回71 人、よい歯ではっぴい!認知症予 防教室(口腔ケア)1回28人、リハ 職派遣事業2回23人)	高齢者 5 宝を開 知症の	る局部有が来アクロンこうでは、 者に関わるケアマネジャーにも教 用催目標人数は達成できた。認 かり、進行の抑制の意識づけ	高齢化が進み、認知症高齢者は増加する傾向にある。今後は、介護予防の推進に認知症予防も含め、取り組みを推進するとせれ、認知症になっても、社会参加やフレイル予防に取り組める仕組みを考えていく。	認知症予防の正しい知識を習得することで、 認知症予防の取り組みができる。運動不足 の改善、口腔機能の維持、改善、社会的孤 立の解消は、認知症の発症・進行の抑制に つながる。	
市川三郷町	3	①自立支援、介護予防・重度化防止	I (1)高齢者の自立支援、 介護予防・重度化防止の 推進	高齢者の自立支 援・重度化防止に 向けて	このような状況の中で、健康寿命の 延伸を図り、自立した生活がおくれ るように支援していくことが重要であ る。地域による支え合いの仕組みづく (グリ生活支援体制整備事業」を充 実させ、町としても介護予防と自立 支援のためにさらなる「介護予防権 進事業」の充実を図りたい。		介護予防事業の開催数20回 100歳体操、介護予防教室、地域 リハビリテーション事業実施	ま業ごとに集計	介護予防事業の開催 576回 (いきいき100歳件等588回・休力測定5回、よい前ではっぴい! 認知症予防教室(口腔ケア)1回、地域リンピリテンシュ事業2回) サロン16か所高齢者質問票を配布189人回答・分2様子防多条の実施。高齢者の保健事業とつ代護予防の一体的実施の事業について、関係は選集と、運動事業ハンドブックの作成と配有(500回)。	が5類は考別で表現である。 が再関係説質で名実まで をた。 通	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ては、身近な場所で参加できるよう に、地域で実践できるリーダーの要請	事業に参加することで、生活習慣を見直し自 らカレイル予防に取り組む良い機会となる。自 分自身で気軽にいつでも始められる内容が多 く、フレイルを予防し、健康の維持介護予防 につながる。	
市川三郷町	4	①自立支援、介護予防・重度化防止	I (1)高齢者の自立支援、 介護予防・重度化防止の 推進	高齢者の自立支援・重度化防止に向けて	[一号保険者意向調査] ・介護が必要になった主な原因 骨折・動 7.196 心臓病 6.0% 脳卒中 4.8% 認知症 4.8%	協議体の開催と第2層圏域 の協議体づくり	協議体の開催 5回	事業ごとに集計	・第1層協議体(1回開催) ・第3層協議体(12回開催) ・地域支えあいフォーラム(1回) ・地域支えあいフォーラム(1回) ・下大鳥居地区の百歳体操のメン /「一を中心に、生活支援体制整備 事業(協議代勤等)について説明 会を行うた。 ・こまのごと手っだい隊の活動者養成 講座(意見交換会)を開催した。	回にめ、	エカス抜体制定備学来で推進9	体を設置し、第3層協議体設置個所が増えるよう支援を行う。また、町内全体で支え合い活動の推進に取り組めるように地域支えあいフォーラムの開催といめは会話明会を開催し、地域づり	地域に協議体があることで個人の問題を地域全体で考える仕組みができ、住民主体の地域文化であるなる。 地域文グにつながる。多様な支え合い活動が始まり、地域全域につながる。多様な支え合い活動が始まり、地域全体の福祉力の向上が期待できる。地域を愛する住民が増えることで町全体の活性化につながる。	
市川三郷町	5	①自立支援、介護予防・重度化防止	I (1)高齢者の自立支援、 介護予防・重度化防止の 推進	高齢者の自立支 援・重度化防止に 向けて	高齢による衰弱 4.8%	地域サロンの拡張	地域サロンの数 24か所	事業ごとに集計	- 登録サロン数24か所のうち、17か 所のサロンが活動している。他か 所はコロナの影響により休止し、活 動再開に至っていない。 - 回数 延べ171回。協力員を含 む参加者は延べ2570名。 ・3月に代表者・協力員向けの研 修会実施。12サロン、25名参加。	絡し、i 向けた 支えあ 始めた サロンイ	5い勉強会においてサロン活動を といとの意見が出たため、既存の 代表者やサロンの立ち上げ経験 とし、立ち上げサポートを行うこと	引続き、活動休止中のサロン代表者 へ連絡を取り、地域でサロン活動を行 う意義や必要性を伝え、再開へ向け て後方支援を行う。	サロン活動が定期的に集まれる場として住民 同士のつながりの場になっている。サロンへ参 加することで社会参加の一助となり、住民同 士のつながりも強まる。 また、研修会を開催することで各サロンとの交 流を図り、活動内容等を情報共有することで より活動を充実させることにつながる。	
市川三郷町	6	①自立支援、介護予防・重度化防止	I (1)高齢者の自立支援、 介護予防・重度化防止の 推進	高齢者の自立支 援・重度化防止に 向けて	眼科・耳鼻科疾患 20.5%	認知症の正しい知識の普及啓発	認知症サポーター及びキャラバンメトの育成、ケアパスの普及啓発 認知症サポーター数 2,960人	イ 事業ごとに集計	・認知症サポーター養成講座3回 開催受講者数 71人 (サポーター数数 3.111人) ・認知症カフェの2か所で開催。 チームオレンジ2か所設置。 ・認知症を支える仕組みづくり検 討会3回開催92人	上に記した。 施する ・会を高いた交え ・の正し	5.74 にかった。 たことができた。仕組みづくり検討 5. 校生と民生委員等、地域の方 意見交換を実施した。認知症 い知識の普及と支える体制づく	地域全体で認知症の正しい知識の普 及啓発に取り組むため、若年層を中 心に、今後も講座を開催してもらえる ようなPRが必要、認知症の適切な支 提を目指し認知症ケアパスの見直しを 行い、地域で活用できるよう普及に取 り組んでいきたい。	認知症の方とその家族が安心して生活できるようサポートができる地域づくりにつながる。また、地域の中の認知症の理解が深まり、認知症予防への取り組みが実践できるとともに、認知症を早期に発見し治療へと結びつけることができる。	
市川三郷町	7	①自立支援、介護予防・重度化防止	I (1)高齢者の自立支援、 介護予防・重度化防止の 推進	高齢者の自立支援・重度化防止に 向けて		介護予防事業の促進	地域のリハビリテーション職等がサロン、100歳体操に出向き助言を実施。 地域リハビリテーション職派遣回数 2回 スポーツクラブ職員による体力測定 45回	事業ごとに集計	地域のリハビリテーション職等がサロン、100歳体操に出向き助言を実施。 施域リハビリテーション職派遣回数 2回 スポーツクラブ職員による体力測定5回	3 12 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	直が達成できなかった。地域リハーション職派遣は、専門職から運 ラョン職派遣は、専門職から運 方法を教えてもらうことで、運動 の意識の啓発につながり、目標 を成することができた。	関わることで、運動週間の獲得につな	地域のリハビリテーション職等がサロン、100歳 体操に出向き助言を行うことで、運動習慣が 定着し、フレイル予防となり、介護予防の推 進につながる。	

		総括表			フェイスシート					令和5年度(実績評価)			
市町村名		【 区分】 ①「自立支援、介護予防・ 重度化防止 ②「介護給付適正化」 から選択してください	【県計画との関連】 「県計画の目標」シートや「県計画概要版」を参考に、関連すると思 県計画の項目を選択してください(当てはまらない場合や不明な場合 の他」を選択してください)。	まわれる 合は「そ タイ	ル現状と課題	第8期における 具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	目標の評価方法	実施内容	評価 (1~5		課題と対応策	取組の効果や 成果として 考えられること
市川三郷町	l 8	②介護給付適正化	IV 介護給付適正化の推 進	介護給付: 適正化	[業の 14,859人(高齢者福祉基礎調査	は 更新認定に係る認定調査(書面による全件点検調査の正確性の向上	事業ごとに実施件数や内容把 握をもって評価する。	・峡南広域行政組合との共同処理 にて、認定調査を実施。 ・申請時の確認 R8.3月末 新規申請 214件 更新申請 899件 変申申請 80件 50十 6計 1,193件	5	・ 映南広域行政組合において認定調 ・	・県外の新規・変更申請については、 組色調査員ともに可職員も立ち合い い調査を行い適正化に努めていく。ま た更新についても4回に1回は立ち合う ようにする。 ・申請受付時に「本当に必要な申請 か」「介護保険以外のサービスで対応 できないが、確認する。	・介護認定調査の偏りを防ぎ、適正化につな げることができる。 ・申請時に確認することで、介護認定申請の 適正化につながる。
市川三郷町	Г 9	②介護給付適正化	IV 介護給付適正化の推 進	介護給付: 適正化	7 接認定半は、15.7%で出業果 16.1%を下回っている。総合事業 開始(H28.10)もあって認定者は3 少減少したが、コロナの影響もあり	「 介護支援専門員が作成したケアプラ の の提出を求め、「自立支援に資する' の アマネジメントとなるよう、点検及び間 富・指導・支援を行うことより、個々 の受給者が必要としているサービスを 使するとともに、力速支援専門員及 り ケアブランの質の向上を図る。	・ 	事業ごとに実施件数や内容把 握をもって評価する。	・要介護1・2の新規ケアプランについて ・要が護1・2の新規ケアプランについて ・地域アケ会議において担当介護支援 専門員から8世を受け機数の開発を 種により、プランや支援について確認を 行った。 和3.3月末 ・・地域アケ会議での検討 44件 会計 62件	5	「果をお返すことで、ケア酸支援専門員の質員 の向上と自立支援・重度化防止の視点に 「基づいたケアプラン点検が実施できた。 ・中間評価と終了時の評価を行い、ケアプラ ・ケードを全な回宝施	いたケアブラン点検ににするため、対面 式の点検を継続する。点検件数が少 ない分課題を研修会等で共有し、改善できるよう取り組んでいく。また、地 域ケア会議でのブラン点検の在り方に ついても、今後適宜見直し、必要な	; 点検対象者を軽度としケアブラン点検を行う ことで、自立支援・重度化防止につながってい く。また介護支援専門員が自らのブランを考 家することができるようにおり、資質の向上・適 正化につなげることができ、その結果として給 付費の適正化にもつながっていく。
市川三郷町	Г 10	②介護給付適正化	IV 介護給付適正化の推 進	介護給付 適正化	が経過し、介護サービスの利用が加して給付費も上昇している。20 年(団塊の世代が後期高齢者到達)、2040年(団塊バニア世代が65歳以上の前期高齢者到達)を据え、中長期的な視点でサービス	上 査による確認、福祉用具購 曽 入申請時の書面による点 55 検、福祉用具貸与の必要(応じた書面と現地確認を行 し、必要性の有無を判断す し、	福祉用具購入…書面 福祉用具貸与…書面と現地確認	事業ごとに実施件数や内容把	・住宅改修・福祉用具の点検を 行った。 R6.3月末(書類及び現地)・ 住宅改修 43件 ・福祉用具購入 43件 ・福祉用具賃与 12件 合計 98件 (継続⇒TEL等確認のみ 11件)	5	・住宅水梯について、計問による事前確認・事後確認を全件行った。 申請時の書面に、構造用異様入して、申請時の書面に、 ・構造用異様入した行うた。 ・は、日本のでは、日	現在の取り組みを継続する。	書面・現地確認することで各利用者にとって の必要性が判断でき、適切なサービスの確保 と不適切な給付の削減につながる。
市川三郷町	Г 11	②介護給付適正化	IV 介護給付適正化の推 進	介護給付: 適正化	11、介難給付の排制につなけ、介	か 医療情報との突合・縦覧点検を国 連合会に委託。介護給付適正化シ デムから提供される介護報酬情報の 確認及び後期・国保と介護の給付法 コスホット 担供されたサービフの表	介護給付適正化システムから提供 最大的名「医療情報との突合」「総覧 本高検」情報をもとに映南広域行政 組合に点検を依頼し、毎月実施する。 医療情報との突合・縦覧点検 4,500件		・医療情報との突合・縦覧点検 R6.3月末実績 ・医療費突合件数 2.690件 ・総覧点検 888件 ・過誤調整に至るケース 16件 合計 3.594件	5	・医療情報との突合・縦覧点検を全件行い、請求の誤り等がないことを確認できた。	現在の取り組みを継続する。	医療情報との突合点検、縦覧点検を行うこと で整合性や重複請求の確認ができ、不適切 な給付が削減される。
市川三郷町	Г 12	②介護給付適正化	IV 介護給付適正化の推 進	介護給付: 適正化	【保険料】 第8期介護保険料 額6,300円(全国平均6,014円、山 製果平均5,783円) (介護給付費)受給者(人あた) 付月額(在宅及び居住系サービ 130,363円(全国平均133,349円 山梨県平均136,198円)(令和5 ⁴	か護給付費の通知発送に るサービス内容と実質給付 額の周知により意識啓発を 図る。	利用者本人・家族あてに、利用した サービスの内容と介護報酬の請求 及び費用の給付状況を記載した通 知書を送付する。 年2回(半年分)	事業ごとに実施件数や内容把 担接をもって評価する。	- 介護給付費の通知 R5実績 第1回通知 1,021件(7月) 第2回通知 984件(1月) 合計 2,005件	5	・年に2回介護給付費の通知を送付した。サービスの利用状況をお知らせすることや、通知の内容の問合せをいただいた際に説明することで、介護保険制度について理解を深めてもらうことができた。	現在の取り組みを継続する。	利用者・御家族が自身の利用したサービスの 給付費や内容等を改めて確認することで、必 要なサービスの取捨選択を促し、給付の適正 化につなげる。